

長崎県立大学シーボルト校生協 七夕パーティー



[組合員交流]

取り組み概要

日時：2022年7月8日
場所：学内食堂・喫茶
参加者数や組合員の反応：前半の部…学生6人・地域から47人、後半の部…学生5人・地域から48人が参加。

背景や概要：大学が住宅街の中にあるため、地域の方への感謝のために始まった企画。コロナの影響でストップしていましたが、規模を縮小するなど感染対策もしながら、数年ぶりに対面での開催を成功させました。

地域の人と楽しむ恒例行事の復活

POINT.1

対面の恒例行事を復活



組合員だけでなく地域の人も招待して行う七夕パーティー。浴衣を着た学生委員が食事や飲料、レクレーションを提供する、楽しい企画です。地域の人に対してはポスティングで宣伝をしましたが、その際には「今年は生協の七夕やるんだね！」との声も。シー大生協の七夕パーティーは地域の人にとっても馴染みのある対面の恒例行事です。感染対策の観点から、前半・後半、学生・外部参加ともに人数制限を設けた事前予約制を取りましたが、地域からはほとんど上限に近い参加者数がありました。

POINT.2

上級生・学内サークルとも連携

執行代である2年生だけでなく、引退した3年生メンバーも経験したことのない七夕パーティーの対面実施。引き継ぎの段階から当日運営まで手探りの部分も多かったですが、3年生メンバー、対面の実施を経験したことのある4年生メンバーも協力して当日を乗り越えました。また、学内サークルに呼びかけ、マジックやダンス、邦楽などのステージパフォーマンスの時間を設けました。学生委員外とも連携することで、より参加者に楽しんでもらえるコンテンツを用意することができました。



POINT.3

今後に活かせるポイントを出し合う

七夕パーティー実施～
(企画)
・かまどの作り場所を考えた方がいい
・シロップの量
・広場や学生センターは役員にお願いする方がいい
・ミル缶を別の箱に入れた方がいい
・手袋を多めに用意
・練習しておくダンスなどの人数の調整
・来客が多く作業の効率性を上げる
(ドリンク)
・受付の場所の工夫
・水の量や量
・飲みの配分方法
・ドリンクの種類、サイズの検討
・使用する飲み物の味がおいしいものがない
・ドリンクの数を増やす
・生協で入れるべき！！
・ドリンクコーナーに入れている飲み物も
・飲み物が冷えてないのを確認してしまう
(総括)
・活動が楽しかった
・賛助の決め方 ※引き継ぎ予定
・主催がなかった
・焼きそばの(お豆腐)の調整が難しかった
・七夕の準備が早く終わった

シー大学委は企画の振り返りを徹底します。当日は運営の学生委員も楽しめた七夕パーティーでしたが、翌週の定例部会ですぐに企画を振り返りました。当日の運営中に改善点をメモしていた学生委員も。来年の七夕パーティーはもちろん、今後の対面企画の運営に活かせるよう、当日だけでなく準備段階からそれぞれが感じた良かったところ、反省点をしっかりと話し合います。部会の議事録はLINEグループで共有。全員で考え共有することで、一人一人が主体的に企画運営に関わる意識の醸成にもつながります。